置賜広域病院企業団／公立置賜総合病院

広報 おきたま病院

第37号
令和6年秋

各種指定等

救命救急センター
第二種感染症指定医療機関
エイズ治療拠点病院
地域がん診療連携拠点病院
へき地医療拠点病院
地域医療支援病院
災害拠点病院
臨床研修指定病院
日本医療機能評価機構認定病院



10/19（土）に「おきたま病院健康まつり2024&救急フォーラム置賜2024」を開催しました！マーチングやはたらくくるまの展示、看護師なりきり体験や医療機器操作体験など様々なブースを用意し、たくさんの地域住民の方にお越しいただきました！

目次

p02 患者サポートセンターの紹介
p04 リハビリテーション科 専門医資格の取得について
p05 CT装置をリニューアルしました!
p06 マイナ保険証をご利用ください
p07 栄養ミニ講座
p08 障害年金等について 社会保険労務士が相談に応じます
年末年始期間中の診療について

病院理念
心かよう信頼と安心の病院

運営方針

1 患者本位の医療を展開いたします。
2 高度・救急医療を提供いたします。
3 健全経営の確保に努めます。
4 人材を育成いたします。
5 地域連携の推進に努めます。
6 快適な療養環境を提供いたします。

患者サポートセンターです

患者サポートセンターは、
- ●入院支援
- ●薬剤部（お薬コーナー）
- ●がん相談支援センター
- ●相談支援

の4つの部門で構成されています。



入院支援部門

入院の手続き、薬剤確認、問診を行っています。

当院では、今年度より意思決定支援により力をいれています。



意思決定支援とは

医療者から病気についての話を受けて、患者様自身の考えを教えていただき、患者様が望む生き方を支援するための取り組みです。

そこで問診の際、入院されるすべての患者様へ、

『命に関わる病気になった時には、告知を希望されるか』
『病状について、どこまで知りたいと思っているか』

の確認をさせていただいています。

『今は決められない』『話をするのがつらい』時は、
もちろん無理はせず、申し出てください。

薬剤部（お薬コーナー）

入院する患者様の、お薬に関する聞き取りを行っています。

- 手術や検査に備えて休薬指示が出た場合の確認。
- かかりつけ薬局と連携して一包化の調整。

サプリメントや健康食品にも注意が必要なものがあるため、聞き取りにご協力お願いします。安全に入院準備ができるよう取り組んでいます。



がん相談支援センター



身体・治療のこと
気持ちのこと
福祉のこと
お金のこと

無料で予約も不要です。
お気軽にご相談下さい。

善意でボランティアの方よりいただいたケア帽子を必要な方にお配りしています。またウィッグの試着も可能です。
ぜひ、相談窓口にお声がけください。

★ボランティアの方、いつもたくさんの善意をありがとうございます。



がんサロンも開催しています

がんサロンとは

がんの患者さんとご家族が不安や悩みを語り合う場です。同じような経験をされている方の話を聞いてみたい、医師や看護師には相談しにくい、細かい悩み事あるなどありましたら、遠慮なくご相談ください。ピアサポーター（がんの経験者）が一緒に考えます。

各がんのガイドライン・食事・運動などの図書も充実しております。無料で貸し出しも行っています。

★当院ホームページより、貸し出し可能の図書をご覧いただけます。



★活動の報告★



長井市のくるんとで行われた、
レモネードスタンド
に参加してきました。

リハビリテーション科専門医に合格しました！

脳神経外科　土谷 大輔

今年7月、日本リハビリテーション医学会のリハビリテーション科専門医試験に合格しました。試験に際して多大なご助力を頂いた前病院長の林雅弘先生、当院リハビリテーション部の井上健技師長はじめ、他の脳神経外科のメンバー、リハビリテーション部の療法士の皆様には心より感謝を申し上げます。

リハビリテーション科専門医について



高齢化社会を迎え、脳卒中のみならず、整形外科などの他疾患によりリハビリテーションが必要になる患者さんは増加の一途をたどっています。しかし、全国で脳神経外科の専門医が8000人前後であるのに対し、リハビリテーション科専門医はわずか3000人弱しかいません。山形県内には25人しかおらず、**脳神経外科専門医かつリハビリテーション科専門医の両方の資格を持つ医師は、私で2人目となります。**

脳卒中の治療とリハビリテーションの関連

私は2009年に当院脳神経外科所属となり、くも膜下出血、急性期脳梗塞といった脳卒中の治療に従事してきました。近年は、最新のカテーテルによる血管内治療を行っています。血管内治療は低侵襲、言い換えると、患者さんに優しいので、治療成績は目に見えて良くなりました。しかし、それでも、脳卒中後に片麻痺、言語障害などの後遺症が残りリハビリテーションが必要になる患者さんが未だに多く存在します。



現代の医療は専門化しているため、各専門医が分担して治療するのが主流です。脳卒中も例外ではありません。しかし、患者さんの視点から見ると、急性期治療からリハビリテーションまでが、一連の出来事として自身に起こったことになります。今回の専門医取得により、**脳卒中については入院からリハビリテーションまで一貫して治療することができるようになりました。**



土谷医師とリハビリテーション部スタッフ

おわりに

当院では神経内科、総合診療科と力を併せて急性期の脳卒中を治療しており、最新の治療を提供しています。リハビリテーションでは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、そして担当の看護師、介護士などでチームを作り、患者さんが元気になるという目標に向かって応援していきます。今後はチーム全員で力を合わせて、置賜地区の医療に貢献していきたいと思っています。

CT装置をリニューアルしました!

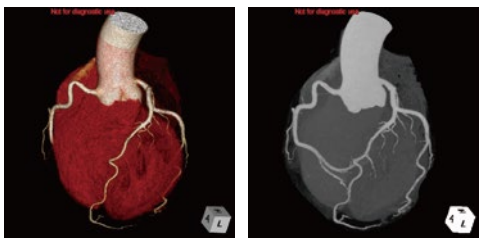
2024年3月にCT装置が新しくなりました。その特徴をご紹介します。

(キャノンメディカルシステムズ社製　Aquilion ONE INSIGHT Edition)



①最新のAI技術により、低い線量で高い画質が得られる

CT検査は放射線による被ばくがありますが、新しい装置では超解像Deep Learning再構成技術により、従来より低い被ばく線量でも高精細な画像が描出できます。また、心臓のCT検査においては、1回転0.24秒の高速撮影が可能で、脈の状態に影響されずに高品質な画像を得られるようになりました。



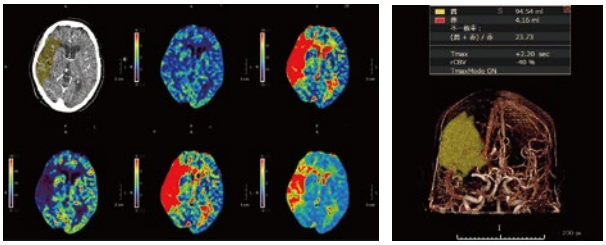
心臓のCT図

②開放的な形状による負担軽減

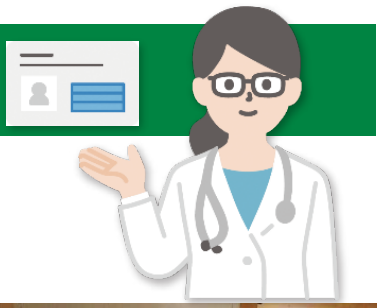
従来よりもトンネルの開口部が広くなり、狭いところが苦手な方の負担を軽減します。
また、トンネルの反対側から腕を伸ばして、手の撮影も可能です。

③最新の画像処理ワークステーションの導入により、4D脳血流解析が可能

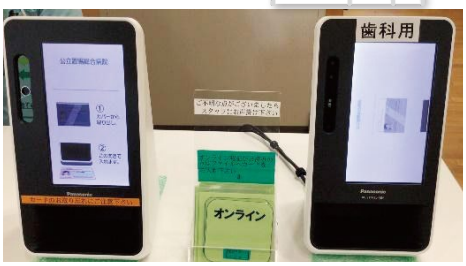
急性期脳卒中の中でも、脳梗塞に対しては、早期治療が求められます。造影剤を使用して撮影した4D画像を専用のワークステーションで解析すると、血栓で閉塞している血管の部位がわかり、早期治療をすることで回復できるかどうか一目で観察することができます。



マイナ保険証をご利用ください



令和6年12月2日より、健康保険証の新規発行が終了になります。それに伴い、現在お持ちの健康保険証を、最大1年間利用可能とする経過措置が設けられていますが、それ以降は利用できなくなります。マイナンバーカードをお持ちであれば、市役所や役場で健康保険証との紐づけの手続きをしていない場合でも、病院内の顔認証システムで手続きし利用することができます。ぜひマイナ保険証をご利用ください。



顔認証付カードリーダー

マイナ保険証利用によるメリット

① よりよい医療を受けることができる

病院側で患者さんの過去のお薬情報や健康診断の結果を見られるようになるため、身体の状態や他の病気を推測して治療に役立てることができます。また、お薬の飲み合わせや分量を調整してもらうこともできます。事故や災害時にも、お薬情報が共有されて安心です。

② 手続きなしで高額医療の限度額を超える支払を免除

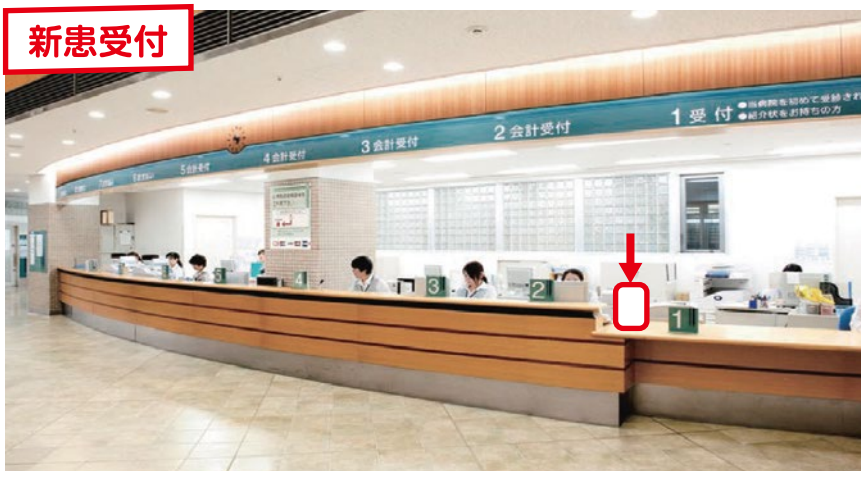
限度額適用認定証等がなくても、高額療養費制度における限度額を超える支払が免除されます。

【 当院の設置場所 】

- 外来受付1～4
- 新患受付
- 患者サポートセンター
- 救命救急センター受付

※歯科を受診の方は、
・外来受付4
・患者サポートセンター
・救命救急センター受付でのみご利用できます。

新患受付



各外来受付



公立置賜総合病院 栄養管理室 管理栄養士 小浦民子

災害時こそ食事が大切

食べることが、大切な命を守ります！

水分をしっかりとる、できるだけ食べる、など当たり前のことができないのが非常災害時です。
いのちを守るため、少しでも食べるために普段からの備蓄が大切です。
日頃から、自分自身と家族や周りの方の「食」のために、
最低3日分、できれば1週間分の食品を備えておきましょう。





いつもの食品で無理なく食料備蓄を

普段から日常使いができる食品や日持ちのするものを備えてみましょう

水

飲料水として、1人当たり1日1ℓの水が必要です。調理等に使用する水を含めると、3ℓ程度あれば安心です。



主食

エネルギー源の確保に

- 精米　● レトルトご飯
- 乾麺　● カップ麺
- 小麦粉 ● シリアル類　等



主菜・副菜

たんぱく質やビタミン、ミネラル、食物繊維の補給に

- 缶詰　● レトルト食品
- 乾物　● 日持ちする野菜　等





カセットコンロ

熱源は、食品を温めたり、
簡単な調理に必要です。
カセットボンベの準備も忘れずに。

1人/1週間分：ボンベ6本程度



参考資料：農林水産省（災害時に備えた食品ストックガイド）

切干大根の和え物

災害時にも簡単に作れるレシピです。きゅうりや水菜、ハムなどを加え、普段の1品にもいかがでしょうか



【材料　2人前】

- 切干大根・・・・・1袋
- 塩昆布 ・・・・・・1つまみ
- ツナ缶 ・・・・・・1/2缶

A
- ごま油・・・・・大さじ1/2
- 醤油 ・・・・・・小さじ2
- 黒コショウ・・少々

❶ 切干大根はたっぷりの水で15分ほど浸し、水気を絞る
❷ ボウルに❶、塩昆布、ツナ缶（油も）、Aを入れ、よく混ぜ合わせる
❸ 少し時間を置いて味をなじませる
ツナ缶の油が気になる場合は油をきって使いましょう

被災生活が続くと、**タンパク質やビタミン、ミネラル、食物繊維が不足**すると言われます。日頃から**缶詰**や**乾物**などを常備したり、**肉や魚は冷凍保存**し調理に用いることで、自然と日頃の栄養バランスを整えながら災害時にも役立てることができます。備蓄食品を見直してみませんか？



障害年金等について
社会保険労務士が相談に応じます。

相談無料



社会保険労務士 齋藤 修 氏

《開催日》 毎月第2・第4水曜日

《時　間》 9:00～11:00

《受　付》 公立置賜総合病院 2階 第4会議室

●病気やけがなどの後遺症により日常生活や仕事などが制限されるようになった場合に受給できる、公的年金制度「障害年金」について、受給資格の確認や請求手続きのアドバイスなどを行います。

●相談は予約制になっていますので、公立置賜総合病院1階の相談窓口や電話等でご予約ください。また、開催日当日も予約の空き状況により相談をお受けしますので、相談窓口へお気軽にお声がけください。

相談窓口：公立置賜総合病院　医療連携・相談室　☎0238-46-5000（内線：1713）

年末年始期間中の診療について

公立置賜総合病院の救命救急センターでは年末年始の診療を行っておりますが、
緊急性の低い症状の場合は待ち時間が長くなります。
急な病気で比較的軽い症状の場合は、
長井西置賜休日診療所、南陽東置賜休日診療所等をご利用ください。



長井西置賜休日診療所

◆ 年末年始診療日：12/31～1/3
◆ 診療時間：9:00 ～17:00
（受付8:30～11:30、13:00～16:30）
◆ 診療科目：内科、小児科、外科
◆ 場　　所：長井市保健センター内
◆ 連 絡 先：☎0238-84-5799

南陽東置賜休日診療所

◆ 年末年始診療日：12/31～1/3
◆ 診療時間：9:00 ～17:00
（受付8:45～11:45、13:00～16:30）
◆ 診療科目：主に内科、小児科
◆ 場　　所：南陽市東置賜郡医師会館前
◆ 連 絡 先：☎0238-40-3456

咳・熱等の症状のある方、外科希望の方、小学生未満の方は事前にお電話ください。

発　行　置賜広域病院企業団／公立置賜総合病院
編　集　広報委員会（事務局：経営企画課 企画担当）☎0238-46-5000
ホームページアドレス
http://www.okitama-hp.or.jp/